

第175回 伊丹市内企業の景気動向調査

<調査対象>

伊丹市内の主要企業150社

<調査方法>

郵送によるアンケート調査方式

<比較方法>

景気動向については「直前期」、経営動向については原則として「前年同期」と比較

<有効回答数>

150社中 68社 （一般27、食料品工業7、商業8、建設業12、運輸業7、サービス業7） 回答率45.3%

<調査期間>

令和6年9月上旬～令和6年9月18日

<調査対象期間>

令和6年7～9月期

調査結果

〔伊丹市内企業の経営動向について〕

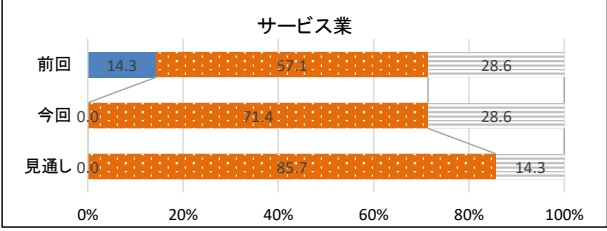
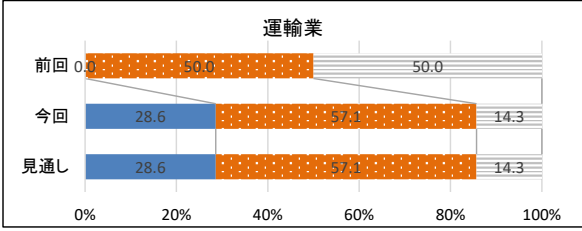
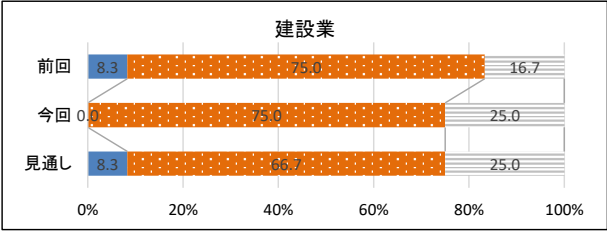
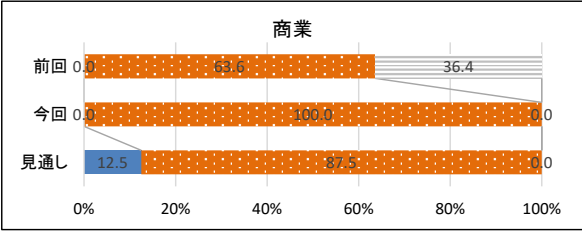
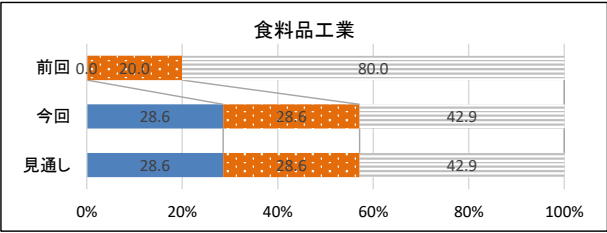
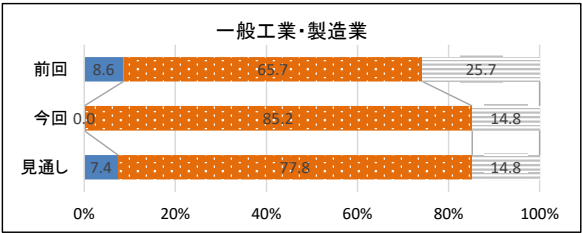
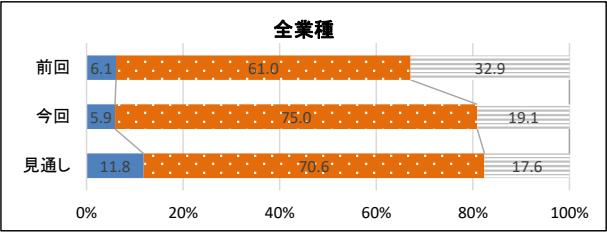
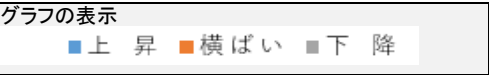
産業別DI(景気動向指数)とは…それぞれの調査項目に対してプラス傾向(増加・好転など)の回答割合からマイナス傾向(減少・悪化など)の回答割合を差し引いたもの。

景況天気図			
	晴れ(好調)	曇り	雨(不振)
DI値	+30	+10	▲10

全業種	業況	売上	採算	仕入単価	従業員
全業種	▲16.2	8.8	▲8.8	▲75.0	不足 25.0
一般工業	▲29.6	11.1	▲22.2	▲74.1	不足 29.6
食料品工業	▲42.9	▲28.6	▲28.6	▲85.7	不足 14.3
商業	▲12.5	12.5	▲12.5	▲87.5	不足 12.5
建設業	0.0	▲16.7	16.7	▲66.7	かなり不足 33.3
運輸業	14.3	42.9	0.0	▲71.4	かなり不足 42.9
サービス業	0.0	42.9	14.3	▲71.4	丁度 0.0

〔伊丹市内企業の景気動向について〕

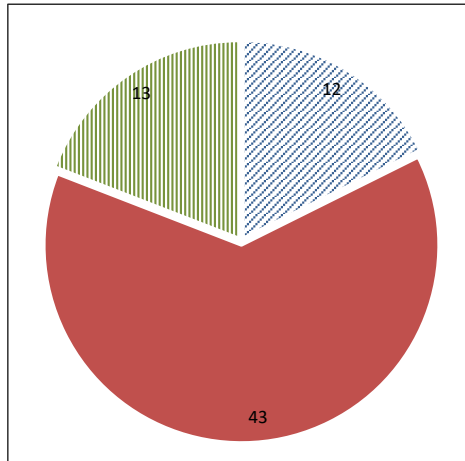
今回の調査結果(回答68社)によると、令和6年7～9月期の景気実績は「上昇」回答5.9%(前回6.1%)、「下降」回答19.1%(前回32.9%)、景気見通しは、「上昇」回答11.8%、「下降」回答17.6%となった。



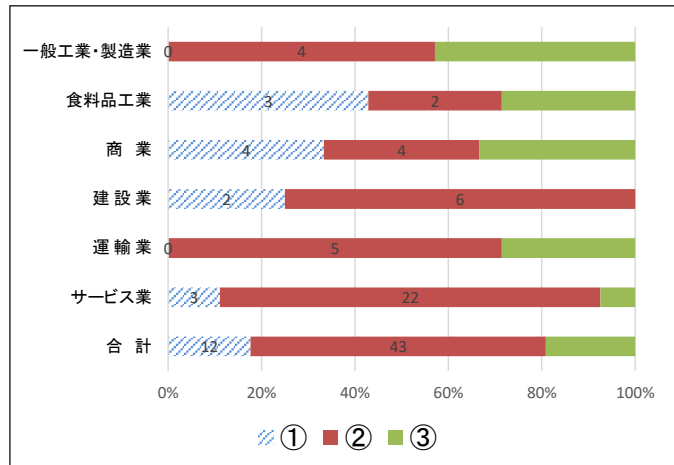
4-1. 従業員の時間外労働の上限規制について(原則 月45時間・年360時間)
貴社は「時間外労働の上限規制」適用後、事業活動への影響はありましたか。

回答: ① 影響がある
② 影響がない
③ 今はまだわからない

<全体>



<業種別>



4-2. (4で「1:影響がある」と回答した方のみお答えください)
時間外労働時間の上限規制」適用後、以前にもまして人手不足を感じていますか。

	合計	サービス業	運輸業	建設業	商業	食料品工業	一般工業・製造業
① 感じている	9	1	0	1	4	3	0
② 感じない	3	2	0	0	0	0	1